

J Sights Corporation

Namrock Lobster 2025/2026 シーズンを終えて

2026 年 7 月 27 日

J サイト株式会社 島尾 裕子

[お問い合わせ](#)

弊社はナミビア産伊勢海老（Namrock Lobster）の総代理店を務めている。漁期は毎年 10 月から翌年 4 月末までであり、各漁師は政府より与えられた漁獲権の範囲内で漁を行い、主に日本・中国へ輸出している。本レポートではナミビア産伊勢海老はもちろん、他国産伊勢海老も含めた海外産伊勢海老全体について記載していく。

下記は海外産伊勢海老の輸入動向である。

国	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	合計
台湾	179	106	120	100	200	0	0	0	0	0	705
タイ	200	250	0	0	0	0	0	0	0	0	450
フィリピン	48,195	52,882	37,795	25,825	1,110	17,935	11,675	8,735	2,615	3,955	210,722
インドネシア	57,844	12,234	0	7,610	56,480	4,470	1,610	1,460	60,480	18,490	220,678
インド	96,550	89,914	64,004	67,770	11,325	57,080	46,870	48,900	11,130	3,750	497,293
イエメン	0	36,710	67,834	20,895	41,270	22,880	28,085	79,344	0	19,670	316,688
フランス	172,750	152,060	239,877	124,510	90,240	68,355	118,396	147,840	162,890	167,985	1,444,903
アメリカ合衆国	59,110	19,080	30,866	42,280	14,600	23,710	41,870	14,410	29,400	14,400	289,726
ホンジュラス	9,221	30,620	6,960	15,300	0	0	0	0	0	0	62,101
ベリーズ	14,581	7,109	6,767	18,959	0	0	0	0	0	0	47,416
ニカラグア	11,465	0	1,452	0	6,903	0	0	0	0	0	19,820
キューバ	150,335	134,880	210,695	124,131	79,650	32,610	80,330	63,230	62,800	16,660	955,321
ブラジル	146,559	132,183	89,999	115,794	21,217	6,297	68,257	126,499	86,835	45,294	838,934
セントヘレナ及びその附属諸島（英）	146,598	128,389	135,203	83,259	105,559	56,083	91,127	97,197	117,904	93,860	1,055,179
マダガスカル	143,188	159,750	164,050	94,395	87,120	91,590	151,730	194,055	262,444	205,118	1,553,440
レユニオン（仏）	32,350	92,400	13,200	78,510	37,990	43,370	43,480	74,970	37,500	37,200	490,970
ナミビア	142,490	135,970	117,750	60,650	125,990	67,480	66,650	50,680	56,000	68,890	892,550
南アフリカ共和国	122,970	133,602	84,570	83,276	21,220	37,469	24,169	5,278	15,650	25,706	553,910
オーストラリア	40,608	31,948	29,347	28,098	18,344	18,823	49,163	104,712	63,203	45,094	429,340
合計	1,395,193	1,350,087	1,300,489	991,362	719,218	548,152	823,412	1,017,310	968,851	766,072	

単位：キログラム

出所：財務省貿易統計より

上記の表からもわかる通り、コロナ前とコロナ後を比較すると、日本が輸入している総数量は大きく減少している。2025 年の輸入数量は、2016 年比で半分程度となっている。数量減少の要因としては、円安によるキロ単価の高騰、海外との購買競争の激化、日本国内での需要減少などが挙げられる。

弊社が総代理店を務める Namrock Lobster も、コロナ前は年間 100Mt 以上が平均輸入量だったが、現在は 60Mt 程度と約半分になっている。大変ありがたいことに顧客からの需要は強いものの、中国との購買競争激化によって輸入数量を減らさざるを得ず、一部の需要は他の海外産伊勢海老に流れてしまった。また、日本国内で海外産伊勢海老を取り扱う会社が減少しているのも事実であり、海外産伊勢海老の市場規模は明らかに縮小している。

こういった日本国内マーケット全体が縮小しているなかで、弊社は Namrock Lobster の総代理店として、同ブランドの価値拡大および販売数量の拡大を図ることはもちろん、国内マーケットの維持・拡大にも寄与する立場であると考えている。Namrock Lobster の価値および販売数量拡大のためにも、

J Sights Corporation

サプライヤーである **Namrock** に対し、日本マーケットの特性（小型サイズを多く消費する）をさらに理解してもらうことが重要である。また、新しい **Namrock Lobster** の販売先開拓も急務であり、日本国内の会社様はもちろん、アジアを中心とした海外市場への展開についても検討していきたい。

日本国内販売では、コロナ以降、生冷（WRL、Whole Raw Lobster）のみを製造する産地もあり、WCL（Whole Cooked Lobster）の需給はひっ迫している。こうした状況から、近年は「WCLであればどここの産地でもよい」という声も少なからず聞こえてくる。マダガスカル産の輸入量が大きく増加した背景には、この需給ひっ迫があると考えられる。

しかし本来、**Namrock Lobster** が製造する WCL の品質は海外産伊勢海老の中でも最高クラスに位置しており、コロナ以前は産地の優位性を活かした販売が行われていた。近年の輸入量減少により一時的に産地ごとのブランド価値が見えにくくなっているものの、ここ数年の輸入量は低位ながら安定してきている。今後、弊社としては **Namrock Lobster** の品質やブランド力を理解している顧客と密な協議を行い、共に販売拡大を図っていきたい。